

■2022年度

事業報告

I. 2022年度 日本イベント産業振興協会(JACE)を取り巻く概況

2022年の日本経済は年初から春先まで「まん延防止等重点措置」や対ロシア制裁の影響による物価上昇が個人諸費の回復を遅らせたが、夏場のコロナ感染拡大が終息した後は、ウィズコロナに移行、旅行支援など政府の援助策もあり個人消費は持ち直しつつあり、2022年の実質GDPは前年比1.1%増で、2年連続のプラスであった。新型コロナウイルス禍から経済の正常化が緩やかに進んでいる。

イベントを取り巻く業界に目を転じると、電通発表の2022年1月～12月の日本の広告費は過去最高の7兆1,021億円(前年比104.4%)でコロナ前の2019年を超えた。特に社会のデジタル化を背景にインターネット広告費は3兆912億円(前年比114.3%)となり2兆円を超えた2019年からわずか3年で約1兆円増加し総広告費の伸びに大きく寄与している。一方で「イベント・展示・映像ほか」に関しては、引き続き低い水準に留まり、2,988億円(前年比92.5%)とマイナス成長となった。特にイベント領域においては1,233億円(前年比89.9%)となったが、これは前年の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」特需の反動によるところが大きい。展示領域においては、複合型商業施設、企業PR施設、テーマパークなどのエンターテインメント施設が新装・改装の需要が増加し、百貨店は改装や催事などにより需要が回復。文化施設は大型案件が少なかったこともあり減少した。

JACE自身の調査研究活動である「イベント産業規模推計」において、2022年のイベント産業は、ウィズコロナの新しい潮流の中、イベント関連産業(広告・制作会社、イベント専門企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業などイベントを売上げの一部としている業種・業態)の産業規模は6,758億円(前年比121.0%)、さらにイベント周辺産業(音楽コンサート、演芸・スポーツ興行など 娯楽・エンタメ産業)までも含めた規模は2兆804億円(前年比138.7%)と回復傾向にあり、コロナ前の2019年と比較してもイベント関連産業で70.5%、全体で77.7%と、かなり戻ってきていて、新型コロナウイルス感染症の呪縛から完全に解放される日も近いといえる。

また、イベントカテゴリー毎の来場者の消費額を調査している「イベント消費規模推計」においても、イベントの全体消費規模金額は14兆8,828億円(前年比132.7%)と前年を大きく上回り、一昨年2019年と比べても85.1%とかなり回復した。カテゴリー別では、消費規模の大きい順に、興行イベント5兆7,372億円(前年比150.3%)、文化イベント2兆2,228億円(前年比93.9%)、スポーツイベント2兆1,419億円(前年比153.8%)、フェスティバル1兆7,782億円(前年比167.4%)、会議イベント1兆5,481億円(前年比117.0%)、見本市・展示会7,375億円(前年比99.6%)、販促イベント5,796億円(前年比113.4%)となっており、興行イベントとスポーツイベント、フェスティバルに関しては大幅な伸びを見せ、また販促イベントに関しては2019年の数字を上回る結果となった。

一回のイベントに対する来場者消費額も、26,336円(前年比107.2%)と引き続き復調傾向と取れる一方で、昨年から新たに調査項目に加えたオンラインイベントでの支出額は5,419円(前年比81.8%)と減少したが、まだ調査2年目のためもう少し見守る必要がある。その内訳では、参加費が7割以上を占めている。

リアルイベントの参加者割合は、例年通りフェスティバルが最多で、コロナ禍前の水準には届かないものの、多くのカテゴリーで昨年よりも増えている。参加回数を見ると、フェスティバル、興行イベントなどで昨年より増えている。オンラインイベントの参加者割合は、会議イベントが最多で、興行イベントがこれに続く。参加回数については、会議イベント、興行イベントのほか、スポーツイベントも多かった。

イベントに対する意識については、昨年まで5割以上あった「多くの人が集まるイベントには行きたくない」が、4割に減少し、一方で「多くの人が集まるとしても参加したいイベントがある」は増加して6割超となり、明らかにコロナ禍からの復調の兆しが見て取れる。

脱コロナが本格化する中、イベント業界も活況を取り戻しつつある。コロナ禍においては失ったものは大きいですが、ハイブリッド化の進展など新たに得たものも少なくない。また、人権問題やイベント従事者の労働環境など、これまで以上に真摯に取り組むべき課題も山積している。JACEは、イベントの原点である「人が集まる」ことによって得られる臨場感、「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を踏まえた上で、間近に迫ってきた2025年大阪・関西万博を見据え、行政との連携も深めつつ、イベントの新しい価値の創造を目指して、今後も活動を行っていく。

II. 2022年度事業活動報告

2-1 総会及び理事会

2-1-1 総会

総会は、定款第20条の規程にもとづき石井直代表理事が社員全員に対して社員総会の目的である事項について提案書兼報告書を発し、全会社員から書面による同意の意思表示を得て以下の通り開催し、当該議案の決議が成立した。

●第16回定時総会

日 時 2022年6月22日(水)

場 所 ホテル雅叙園東京 2F「舞扇」

構成員現在数63名、出席構成員数63名(内委任状による代理人出席15名、議長委任19名)

【議題および報告事項】

議題1. 2021年度事業報告の件

議題2. 2021年度決算報告書承認の件《第1号議案》

議題3. 2022年度事業計画・収支予算の件

●第17回臨時総会

日 時 2022年10月7日(金)

実施形態 電磁的方法(メール)による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題1. 理事1名選任の件

●第18回臨時総会

日 時 2022年12月21日(水)

実施形態 電磁的方法(メール)による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題1. 理事2名選任の件

2-1-2 理事会

新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえでリアル開催し、業務執行理事より詳細な業務報告および議案の審議等を行った。

●第45回理事会(書面決議)

日 時 2022年5月26日(木)

実施形態 電磁的方法(メール)による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題1. 2021年度決算諸表承認の件<<第1号議案>>

●第46回理事会

日 時 2022年6月22日(水)

場 所 ホテル雅叙園東京 2F「舞扇」

参加人数 理事出席数23名《理事の現在数24名》監事総数2名のうち出席2名

【議題および報告事項】

議題1. 2022年度業務執行状況の報告

議題2. 正会員新規入会承認の件<<第1号議案>>

●第47回理事会

日 時 2022年10月26日(水)

場 所 ホテルグランドアーク半蔵門 3F「光の間」

参加人数 理事出席数19名《理事の現在数24名》監事総数2名のうち出席2名

【議題および報告事項】

議題1. 2022年度上期業務執行状況と今後の活動について

- 議題 2. 今後の主なスケジュール
- 議題 3. オランダ「フロリアード 2022」 & 「サステナビリティ最新事例」
視察報告
- 議題 4. 正会員新規入会 承認の件 <第 1 号議案>

●第 48 回理事会

日 時 2023 年 1 月 24 日 (火)
場 所 第一ホテル東京 21 F 「ルミエール」
参加人数 理事出席数 22 名《理事の現在数 24 名》監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

- 議題 1. 2022 年度 上期業務執行状況と今後の活動について
- 議題 2. 今後の主なスケジュール
- 議題 3. 賛助会員新規入会 承認の件 <第 1 号議案>

●第 49 回理事会

日 時 2023 年 3 月 23 日 (木)
場 所 ホテルグランドアークホテル半蔵門 3 F 「光の間」
参加人数 理事出席数 19 名《理事の現在数 24 名》監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

- 議題 1. 2022 年度 活動総括および事業・運営について
- 議題 2. 2022 年度決算見込み (3/16 時点)
- 議題 3. 今後の主なスケジュール
- 議題 4. 2023 年度事業計画・収支予算 (案) 承認の件 <第 1 号議案>
- 議題 5. 正会員ならびに賛助会員新規入会 承認の件 <第 2 号議案>
- 議題 6. 2023 年度「第 19 回定時総会」開催 承認の件 <第 3 号議案>

2-2 会員事業及び協会運営

2-2-1 会員事業

今年度も正会員法人からの出向者を中心とした運営体制を継続し、正会員の参画による委員会・部会の活動はオンライン化も含めて実施した。

また、新規会員社を増やすために、福岡地区へ加入依頼のアプローチを実施。昨年度からの関西地区、名古屋地区、北海道地区へもアプローチ継続中。

正会員 62 法人 (3 法人減、3 法人増)、賛助会員 21 法人 (1 法人減、1 法人増)。

計 83 法人を維持。

【新規正会員 3 法人（2023 年 3 月 31 日現在）】

(株)電通名鉄コミュニケーションズ、(株)博展、(株)ジールアソシエイツ

【新規賛助会員 1 法人（2023 年 3 月 31 日現在）】

群馬県立渋川青翠高等学校

2-2-2 協会運営（正会員社の参画による委員会等の活動）

① 総務委員会

| 役 割 | 氏 名 | 会員社名 | 部署名/役職名（2022 年度活動開始時点） |
|------|--------|-------------------|---|
| 委員長 | 山口 吉章 | (株)乃村工藝社 | 事業統括本部 営業推進本部 第二事業本部 事業部長 |
| 副委員長 | 舛森 丈人 | (株)テー・オー・ダブリュー | 取締役 兼 執行役員 管理本部長 |
| 委 員 | 田所 義教 | (株)ADK クリエイティブ・ワン | アクティベーション本部 本部長補佐 兼 第 1 コミュニケーション・プランニング局 局長 シニア・ゼネラル・プロデューサー |
| 委 員 | 佐々木 淳 | (株)ジェイアール東日本企画 | 企画制作本部 エクスペリエンシャル・ プロモーション局 次長 |
| 委 員 | 齋藤 友輔 | (株)J T B | ビジネスソリューション事業本部 事業推進チーム 事業推進担当部長 |
| 委 員 | 松田 英彦 | (株)セレスポ | 取締役 事業本部副本部長 事業支援部部長 |
| 委 員 | 渡里 大介 | 大日本印刷(株) | 情報イノベーション事業部 DX センター ハイブリッドマーケティング本部 本部長 |
| 委 員 | 野村 英司 | (株)丹青社 | コミュニケーションスペース事業部 事業部長 |
| 委 員 | 石阪 太郎 | (株)電通ライブ | 執行役員 |
| 委 員 | 前田 暢彦 | (株)東急エージェンシー | エクスペリエンス クリエイション センター 第 3 統合ソリューション局 局長 |
| 委 員 | 藤本 真理子 | (株)博報堂 | MDX 戦略局アセットマネジメント部 部長 |
| 委 員 | 長田 芳暁 | (株)博報堂プロダクツ | イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長 |
| 委 員 | 藤田 政志 | (株)マッシュ | 常務執行役員 東京支店長 |
| 委 員 | 田口 政幸 | (株)ムラヤマ | 執行役員 |

*JACE 事務局担当：千種、尼子

協会の運営を円滑に進行する実施機関として理事会の直前に 4 回開催

- 第 1 回 2022 年 6 月 15 日（水）【オンライン併用】
- 第 2 回 2022 年 10 月 19 日（水）【オンライン併用】
- 第 3 回 2023 年 1 月 17 日（火）【リアル開催】
- 第 4 回 2023 年 3 月 16 日（木）【リアル開催】

- 活動状況 1. 理事会開催前に事務局活動報告を確認
2. 委員交代時 新メンバー紹介等

② 人材育成委員会

| 役 割 | 氏 名 | 会社名 | 部署名／役職名（2022 年度活動開始時点） |
|-----|-------|----------------|-----------------------------|
| 委員長 | 長田 芳曉 | (株)博報堂プロダクツ | イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長 |
| 委 員 | 小坂井 彰 | 五大陸(株) | 代表取締役 |
| 委 員 | 間藤 芳樹 | (株)マッシュ | 代表取締役 |
| 委 員 | 内山 早苗 | (株)UD ジャパン | 代表取締役 |
| 委 員 | 内宮 真一 | (株)スポーツマネージメント | 代表取締役 |
| 委 員 | 酒井 基喜 | (株)マッシュ | |
| 委 員 | 越川 延明 | (株)セレスポ | 執行役員総務部長兼広報室長 |
| 委 員 | 綿木 啓了 | (株)ディー・エヌ・エー | プロジェクトマネージャー |
| 委 員 | 磯部 陽一 | (株)レイ | コミュニケーションデザイン事業本部本部長 |

*JACE 事務局担当：加来、石山、米山

資格・検定制度の価値向上および運営を円滑に進行するため、7 回開催

- 第 1 回 2022 年 5 月 25 日（水）【オンライン】
- 第 2 回 2022 年 6 月 27 日（月）【オンライン】
- 第 3 回 2022 年 7 月 27 日（水）【オンライン】
- 第 4 回 2022 年 9 月 28 日（水）【オンライン】
- 第 5 回 2022 年 12 月 14 日（水）【オンライン】
- 第 6 回 2022 年 1 月 25 日（水）【オンライン】
- 第 7 回 2023 年 3 月 8 日（水）【リアル】

※その他分科会多数開催

- 活動状況 1. 資格価値向上に向けた企画、実施
2. 2022 年度試験運営
3. 試験対策セミナー企画、運営、動画制作
4. 試験問題編成、作成
5. イベント業務管理士 1 級試験作成、採点、合否判定
6. 認定校内試験運営、合否判定
7. 受験者増に向けた施策検討
(会員や賛助会員への協力、認定校拡大、広報活動など)

③ アワード部会

| 役 割 | 氏 名 | 会社名 | 部署名／役職名（2022年度活動開始時点） |
|--------|--------|--------------------------|--|
| 部会長 | 石阪 太郎 | (株)電通ライブ | 執行役員 |
| アドバイザー | 宮本 倫明 | (株)Landa | 代表取締役 |
| メンバー | 田所 義教 | (株)ADK クリエイティブ・ワン | アクティベーション本部 本部長補佐 兼第1コミュニケーション・プランニング局 局長 シニア・ゼネラル・プロデューサー |
| メンバー | 佐々木 淳 | (株)ジェイアール東日本企画 | 企画制作本部 エクスペリエンシャル・ プロモーション局 次長 |
| メンバー | 齋藤 友輔 | (株)JTB | ビジネスソリューション事業本部 事業推進 チーム 事業推進担当部長 |
| メンバー | 原田 伸介 | (株)新東通信 | クリエイティブ本部 JPM 事業グループ グループ長 |
| メンバー | 松田 英彦 | (株)セレスポ | 取締役 事業本部副本部長 事業支援部部長 |
| メンバー | 越川 延明 | (株)セレスポ | 執行役員総務部長広報室長 |
| メンバー | 渡里 大介 | 大日本印刷(株) | 情報イノベーション事業部 DXセンター ハイブリッドマーケティング本部 本部長 |
| メンバー | 野村 英司 | (株)丹青社 | コミュニケーションスペース事業部 事業部長 |
| メンバー | 舛森 丈人 | (株)テー・オー・ダブリュー | 取締役 兼 執行役員 管理本部長 |
| メンバー | 前田 暢彦 | (株)東急エージェンシー | エクスペリエンス クリエイション センター 第3統合ソリューション局 局長 |
| メンバー | 代 友昭 | 凸版印刷(株) | ソーシャルイノベーション事業部 アカウン トプロデュース本部 プランニング3部 部長 |
| メンバー | 小坂井 彰 | 日本イベント業務管理士 協会(JEDIS) | 副会長 |
| メンバー | 山口 吉章 | (株)乃村工藝社 | 事業統括本部 営業推進本部 第二事業本部 事業部長 |
| メンバー | 藤本 真理子 | (株)博報堂 | MDX 戦略局アセットマネジメント部 部長 |
| メンバー | 長田 芳暁 | (株)博報堂プロダクツ | イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長 |
| メンバー | 藤田 政志 | (株)マッシュ | 常務執行役員 東京支店長 |
| メンバー | 田口 政幸 | (株)ムラヤマ | 執行役員 |
| メンバー | 内山 早苗 | (株)UD ジャパン | 代表取締役 |

*JACE 事務局担当：加来、尼子、(沖)

イベントアワード運営を円滑に進行するため、WG を含め 8 回開催（すべてオンライン）

●第1回 2022年8月2日（火） ●第2回 2022年10月11日（火）

●第3回 2022年12月8日（木） ●第4回 2022年12月20日（火）

【ワーキンググループ】

●第1回 2022年7月22日（金） ●第2回 2022年9月1日（木）

●第3回 2022年9月26日（月） ●第4回 2022年11月8日（火）

- 活動状況
- ・ 作品応募のお願い
 - ・ 新たな「賞」の設立について
 - ・ 広報活動活性化について
 - ・ イベント オブ ザ イヤーについて

④ サステナビリティ委員会

| 役割 | 氏名 | 会社名 | 部署名/役職名 (2022年度活動開始時点) |
|------|-------|------------------------|---|
| 委員長 | 越川 延明 | (株)セレスポ | 執行役員総務部長広報室長 |
| 副委員長 | 羽山 寛幸 | (株)昭栄美術 | 専務取締役 |
| 副委員長 | 松本 秀之 | (株)フロンティア インターナショナル | 営業統括本部 第五本部 本部長 |
| 委員 | 板山 智昭 | コーユールンティア(株) | イベント営業部 係長 |
| 委員 | 宮口 真 | (株)電通 | アクティベーションビジネスセンター イベント & スペースビジネス推進部 部長 |
| 委員 | 森下 慎一 | (株)東急エージェンシー | エクスペリエンスクリエーションセンター第3 統合ソリューション局第3アクティベーション部 担当部長 |
| 委員 | 生形 善彦 | 凸版印刷(株) | 情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルイノ ベーション事業部 公共事業推進センターアカウン トプロデュース本部 プランニング第3部 2T 課長 |
| 委員 | 松原 努 | 日本コンベンション サービス(株) | 営業企画室サステナビリティ・SDGs 推進リーダー GDS - Index エグゼクティブ・アドバイザー |
| 委員 | 菅谷 遼 | (株)乃村工藝社 | ビジネスプロデュース本部 ソーシャルグッド戦略部 主任 |
| 委員 | 福傳 弘二 | TSP 太陽(株) | 業務推進部業務推進課長 |
| 委員 | 白川 陽一 | (株)博展 | サステナブル・ブランド事業部長 兼 サステナ ビリティ推進部長 |

*JACE 事務局担当：尼子、千種

イベントサステナビリティワーキンググループをサステナビリティ委員会へ昇格

イベント業界のサステナビリティ化推進のため6回開催 (すべてリアル)

●第1回 2022年6月6日(月) ●第2回 2022年7月11日(月)

●第3回 2022年8月29日(月) ●第4回 2022年10月3日(月)

●第5回 2022年11月21日(月) ●第6回 2023年2月6日(月)

□ 活動状況 1. 取り組む視点、活動の方向性、具体的な活動案について検討

2. 会員社向けアンケート調査の実施

3. 会員社啓発目的のウェビナーを実施(12月、2月、3月)

⑤交流部会

| 役割 | 氏名 | 会社名 | 部署名/役職名(2022年度活動開始時点) |
|------|-------|--------------|-----------------------|
| 部会長 | 松崎 満 | (株)小林工芸社 | 取締役 第1アカウント部 ディレクター |
| メンバー | 鶴間 敏治 | (株)クラフティ | 取締役 事業開発部 部長 |
| メンバー | 本間 澄江 | (株)サピエント | 執行役員 |
| メンバー | 丸山 尚人 | (株)ディー・エヌ・エー | プロモーション3部 丸山ルーム ルーム長 |
| メンバー | 池本 竜 | PRG(株) | 営業部 ディレクター/部長 |
| メンバー | 木白 豊 | (株)レンタルのニッケン | 営業企画部 イベントチーム チームリーダー |
| メンバー | 中原 康哉 | (株)ワールドカラー | 取締役 事業統括本部 |

*JACE 事務局担当：千種、尼子

JACE 会員間のコミュニケーションの活性化、入会メリットの具現化のため、6回開催

- 第1回 2022年6月3日(金) ●第2回 2022年7月8日(金)
- 第3回 2022年8月3日(金) ●第4回 2022年9月15日(木)
- 第5回 2022年10月7日(金) ●第6回 2022年12月20日(火)

※その他ワーキンググループ多数開催

- 活動状況
1. 若手交流会の実施に向けた検討
 2. ビジネスマッチング情報交換会実施に向けた検討

2-3 人材育成事業

オンライン試験(CBT方式)に変更。それに伴い試験対策セミナーもオンデマンド方式に変更した。日本全国約300カ所のテストセンターで受験が可能となったことと、前期および後期の試験期間を各々1か月に設定したことで受験機会の拡大を図った。イベント業務管理士1級もこれまで年1回の実施だったが、今年は年5回実施した。

2-3-1 資格事業 イベント業務管理士1級・2級

① イベント業務管理士1級試験

2級合格者を対象とした1級試験は、2023年1月21,22,27,28,29日の5日間実施した。受験者数は51名(前年比60%)、合格者は19名(前年比31%、合格率37%)であった。昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響が残っており受験を辞退した方も散見された。

| 年度 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|-------|------|------|-----|
| 2020年 | 75 | 51 | 68% |
| 2021年 | 85 | 62 | 73% |
| 2022年 | 51 | 19 | 37% |

② イベント業務管理士 2 級試験

例年どおり、7月と11月の2回実施した。前期試験は2022年7月1～31日、後期試験は2022年11月1～30日に実施した。受験者数は222名（前年比104%）、合格者は150名（前年比83%、合格率68%）であった。オンライン化の影響か昨年を若干上回る受験者数となった。

| 年度 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|-------|------|------|-----|
| 2020年 | 400 | 347 | 87% |
| 2021年 | 213 | 180 | 85% |
| 2022年 | 222 | 150 | 68% |

③ イベント業務管理士 1 級・2 級新規登録・資格更新

新規登録

今年度の新規登録対象者は、1級44名、2級151名、合計195名で、それぞれ43名（登録率98%）、144名（登録率95%）の合計187名が登録した。

※登録料は、1級13,000円、2級10,000円

| 年度 | 1 級新規登録者数 | 登録率 | 2 級新規登録者数 | 登録率 |
|-------|-----------|------|-----------|-----|
| 2020年 | 51 | 100% | 341 | 98% |
| 2021年 | 60 | 97% | 174 | 97% |
| 2022年 | 43 | 98% | 144 | 95% |

資格更新

イベント業務管理士は、3年ごとに更新手続きを実施している。

今年度の1級資格更新対象者は623名で、521名（更新率84%）が更新手続きを行った。

2級資格更新対象者は268名で、168名（更新率63%）が更新手続きを行った。

※登録更新料は、1級13,000円、2級10,000円

| 年度 | 1 級更新者数 | 更新率 | 2 級更新者数 | 更新率 |
|-------|---------|------|---------|-----|
| 2020年 | 446 | 82% | 95 | 57% |
| 2021年 | 422 | 105% | 84 | 38% |
| 2022年 | 521 | 84% | 168 | 63% |

2-3-2 検定事業

イベント・スポーツイベント・ユニバーサルイベントの3検定は、例年どおり、7月と11月に2回実施した。前期試験は2022年7月1～31日、後期試験は2022年11月1～30日。

① イベント検定

一般会場受験225名（前年比95%）、賛助校は23校から458名（前年比117%）、合計683名（前年比109%）が受験し、567名（前年比108%、合格率83%）が合格した。

| 年度 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|-------|------|------|-----|
| 2020年 | 534 | 417 | 78% |
| 2021年 | 629 | 526 | 84% |
| 2022年 | 683 | 567 | 83% |

② スポーツイベント検定

一般会場受験 58 名（前年比 118%）、賛助校は 14 校から 195 名（前年比 117%）、合計 253 名（前年比 117%）が受験し、108 名（前年比 97%、合格率 43%）が合格した。

| 年度 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|-------|------|------|-----|
| 2020年 | 244 | 115 | 47% |
| 2021年 | 216 | 111 | 51% |
| 2022年 | 253 | 108 | 43% |

③ ユニバーサルイベント検定

一般会場受験で 38 名（前年比 115%）が受験し、34 名（前年比 113%、合格率 89%）が合格した。

| 年度 | 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|-------|------|------|-----|
| 2020年 | 48 | 46 | 96% |
| 2021年 | 34 | 30 | 88% |
| 2022年 | 38 | 34 | 89% |

2-3-3 教育(セミナー)事業

試験のオンライン化に伴い、会場でのセミナー実施からオンデマンド配信へと変更した。

試験対策セミナー受講者数は、「イベント業務管理士1級」は 39 名（前年比 53%）、「イベント業務管理士2級」は 54 名（前年比 87%）、「イベント検定」59 名（前年比 94%）、「スポーツイベント検定」21 名（前年比 175%）、「ユニバーサルイベント検定」20 名（前年比 154%）が受講した。

※受講料は、1級・2級各 25,000 円（会員 22,500 円）、3検定各 7,000 円（会員 6,300 円）

| 年度 | イベント業務 管理士1級 | イベント業務 管理士2級 | イベント 検定 | スポーツ イベント検定 | ユニバーサル イベント検定 |
|-------|-----------------|-----------------|------------|----------------|------------------|
| 2020年 | 0 | 53 | 52 | 15 | 12 |
| 2021年 | 74 | 62 | 62 | 12 | 13 |
| 2022年 | 39 | 54 | 59 | 21 | 20 |

2-4 調査研究事業

2-4-1 イベント産業規模推計

2022年6月に発表した、2021年のイベント関連産業（※1）の産業規模は5,584億円（前年比147%）、イベント周辺産業（※2）までも含めた規模は1兆4,999億円（前年比126%）と、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあることがわかるが、一昨年と比べると、まだ6割弱に留まっている。

※1 イベント関連産業 広告・制作会社、イベント専門企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業等、イベントを売上げの一部としている業種・業態

※2 イベント周辺産業 音楽コンサート、演芸・スポーツ興行団など娯楽・エンタメ産業等

2-4-2 イベント消費規模推計

2022年6月に発表した、2021年イベント消費規模推計において、イベント全体の消費規模金額は11兆2,165億円（前年比129%）と前年を大きく上回ったものの一昨年と比べると約64%と依然として低い水準にある。一回のイベントに対する来場者消費額も、24,565円（前年比118%）とこちらも復調基調である。

オンラインイベントに関する意識については、「移動時間が節約できる」、「交通費や宿泊費が節約できる」、「新型コロナ感染などのリスクがない」といったポジティブな意見も多い反面、「リアルに比べて臨場感が足りない」といったネガティブな意見も4割存在する。

2-5 普及啓発事業

2-5-1 JACE イベントアワード

「第8回JACE イベントアワード」（後援：経済産業省）は自薦91、他薦55、合計146作品の応募があり、最優秀賞（経済産業大臣賞）、イベントプロフェッショナル賞、7つの優秀賞に加え、コロナ禍で開催されたオリンピック・パラリンピック関連の4つのイベントに特別賞が授与。表彰式を2022年6月22日に3年ぶりに目黒雅叙園にて開催。

<最優秀賞 経済産業大臣賞（日本イベント大賞）>

・第23回につぼんど真ん中祭り「市街地×オンライン」開催

<イベントプロフェッショナル賞>

・NISSAN KICKS e-POWER Presents リアル人生ゲーム

<優秀賞>

・ガンダムR（リサイクル）作戦

・備える！中日サバイバルキャンプ

- ・ Sony presents DinoScience 恐竜科学博～ララミディア大陸の恐竜物語～ 2021
@YOKOHAMA
- ・ 東北復興宇宙ミッション 2021
- ・ NISSAN KICKS e-POWER Presents リアル人生ゲーム
- ・ 第 23 回につぼんど真ん中祭り「市街地×オンライン」開催
- ・ 『夜の横浜で交差する 街と光のアートイルミネーション ヨルノヨ 2021
－YOKOHAMA CROSS NIGHT ILLUMINATION－』

<特別賞>

- ・ 東京 2020 パラリンピック開閉会式
- ・ NHK「世界を応援しよう！」
- ・ NTT Presents 東京 2020 オリンピック聖火リレーセレブレーション
- ・ 東京 2020 オリンピック TOYOTA 聖火リレー「動かせミライ！その一步を地元から」

「第 9 回 JACE イベントアワード」は、イベント規模の大小に拘わらずイノベティブな作品は表彰の対象とする事を目的とし、主催者別に 3 つの部門を新設することになった。

【部門】： ① 企業・業界団体

② 政府・自治体・公的団体

③ 学生・NPO・各種団体・個人

- ・ 上記 3 部門毎に、ゴールド/シルバー/ブロンズ賞を設定
- ・ 受賞の順位を明確にすることによりアワードの価値向上をはかり PR 効果を期待

2023 年 3 月 9 日に応募が締め切られ、作品応募総数は 152 作品（自薦 96 作品、他薦 56 作品）であった。一次選考会及び最終選考会を経て、6 月 16 日に発表。

2-5-2 サステナビリティ委員会

昨年度のサステナビリティワーキンググループを委員会に昇格させ活動を行った。JACE として最初に取りあげるテーマを、環境軸で「カーボンニュートラル」・「廃棄物」、社会軸で「多様性」・「安全」に決定し、委員会活動およびウェビナーを実施した。

- ① 2023 年 2 月 3 日（金）16：00～17：00 zoom ウェビナー
 - ・「2025 大阪・関西万博におけるサステナビリティへの取り組み」
 - 講師：石川勝氏（2025 大阪・関西万博運営プロデューサー）
 - 登録者：185 人
- ② 2023 年 3 月 10 日（金）16：00～17：00 zoom ウェビナー
 - ・「事例で読み解く脱炭素経営における環境価値（クレジット・証書）の使い分け方法」
 - 講師：池田陸郎氏（Permanent Planet 株式会社 代表取締役）
 - 登録者：199 人

2-5-3 ウェビナー

① 12月5日（金）16：00～17：00 zoom ウェビナー

・「アルメーレ国際園芸博覧会視察報告」

講師：千種道明（日本イベント産業振興協会 総務本部長）

・「オランダサステナビリティ最新事情」

講師：越川延明氏（セレスポ執行役員総務本部長兼広報室長、
JACE・サステナビリティ委員長）

登録者：154人

2-5-4 交流部会

今年度発足した部会で、多種多様な形でイベント業界に関わる JACE 会員社の特徴を生かし、様々な業種の若手社員のネットワーク構築を図り、将来に向かって共にイベント業界を支える人材を育て、未来のイベント業界を盛り上げていく「JACE 若手交流会」を始動することと、正会員社同士の活発なコミュニケーションの場を提供することでビジネスマッチングの支援活動を行った。

① 若手交流会

正会員社のうち 33 社から「若手メンバー」20～30 歳代（入社 2 年目以降 40 歳未満）をご選出いただき、メンバーを構成。第 1 回目は、2023 年 2 月 3 日（金）に開催した。第一部は、同日に開催された「第 1 回 JACE サステナビリティ・ウェビナー」をリアルで視聴し、ウェビナー終了後に講師の石川プロデューサーとの意見交換を行った。第二部の懇親会ではグループワーキングを実施し、本会の名称コンテストを開催。「JACE FUTURE LAB」(略称 JFL) に決定。

② ビジネスマッチング

全正会員社に「プロフィールシート」の作成を依頼し、2023 年 3 月 31 日に回収。オンラインシステムを利用し、原則 1 対 1 のコミュニケーションの場を提供するビジネスマッチング活動を実施。

2-5-5 コーポレートサイト全面リニューアル

4 月 1 日（金）に、全面リニューアルを実施。十数年ぶりの改訂により、デザインの一新、スマホ対応、ユーザビリティの向上などが実現。また、更新作業の内製化が可能な仕様に変更することで、機能面・コスト面が改善。

2-5-6 JACE 懇親ゴルフコンペ開催

7 月 20 日（水）、3 年ぶりに懇親ゴルフコンペを開催。千葉県ロッテ皆吉台カントリークラブにて、36 名が参加。

2-5-7 オランダ・フロリアード視察ツアーを実施

9月5日（月）～11日（日）、アルメーレで開催された国際園芸博覧会の視察ツアーを実施。併せてオランダの最新サステナビリティ事例のスタディを行った。また、パリのBIE（博覧会国際事務局）事務総長への表敬訪問および意見交換の実施。

12月5日（金）、ウェビナー形式で会員社向けの報告会を行った。

2-5-8 その他（賀詞交歓会等）

6月22日（水）にホテル雅叙園東京にて定時総会後の懇親パーティーをJACE イベントアワードの受賞パーティーと合わせて実施し、2023年1月24日（火）には3年ぶりとなる賀詞交歓会を第一ホテル東京にて実施した。両会とも経済産業省はじめ関係団体幹部各位の参加も得て盛大に会員相互の交流を促進した。

2-5-9 他団体との交流活動

① 経済産業省との交流

●イベント産業規模推計報告書およびイベント消費規模推計報告書

・7月13日（水）

商務情報政策局 商務サービスグループ クールジャパン政策課チームメンバーに対して、報告書説明および意見交換の実施。

② イベント関連団体との交流

●イベント学会

・6月10日（金）：定時総会および理事会 津川専務理事出席

・11月12～13日（土日）：第25回イベント学会研究大会 @ビジネスエアポート横浜 カンファレンスホール

・2023年1月21日（土）東日本地域本部「2023 新年の集い」 @東京都立 清澄庭園 大正記念館

●展示会関連団体連絡会

・4月15日（金）：JETRO 特別報告 「オンラインとリアル事業の効果検証とベストミックスの追求」

・6月16日（木）：JEMA 特別報告 「『イベントができない！』を変革のチャンスに」

・8月25日（木）：日展協 特別報告 「展示会第三者認証の現状について」

・11月9日（水）：JACE 特別報告 「オランダサステナビリティ事例とフロリアード2022 視察報告」

・12月13日（火）：JETRO 特別報告 「コロナ禍そしてポストコロナにおける海外展示会の動向」「マッチメイキングプロジェクトやハイブリッド化の取り組み」

- ・2023年2月16日(木)：2023展示会関連団体連絡会メンバーによる2023年度展望セミナー「イベント産業のサステナビリティ推進に向けたJACEの取組み」 発表：越川 JACE サステナビリティ委員長

③ 広告関連団体との交流

● 広告関係団体連絡会

- ・6月30日(木)
- ・9月27日(火)
- ・12月16日(金)
- ・2023年3月14日(火)

④ その他交流

● 東京都産業労働局観光課「東京都 MICE 誘致戦略策定専門家会議」への参画

今年度より津川専務理事が委員として参加

- ・第1回7月15日(金)
- ・第2回10月17日(月)
- ・第3回11月28日(月)

2023年1月に「東京都 MICE 誘致戦略 2023」を発表

● (公財)東京観光財団「東京都 MICE 連携推進協議会」への参画

「東京都の MICE 誘致に向けて関係主体の連携を促進」を目標に、官民一体の協議会継続を決定。5年連続で JACE への協力要請があったため、津川専務理事へ委員委嘱。観光庁、日本政府観光局 (JNTO)、東京都、東京商工会議所、業界団体、大学など参加。

○ 「東京都 MICE 推進協議会」

- ・第1回6月28日(火)
- ・第2回2023年3月3日(金)

同協議会の「テクノロジー部会」も継続。MICE イベントにおける最新テクノロジーについて調査・研究を行う。

※「テクノロジー部会」は、今年度も津川専務理事が部会長を継続。

- ・第1回7月21日(木)
- ・第2回9月30日(金)

○ 「東京都次世代型 MICE 推進協議会」：今年度より津川専務理事が委員として参加

- ・第1回6月8日(水)
- ・第2回7月11日(月)

- ・第3回 10月7日（金）
- ・第4回 11月22日（火）
- ・第5回 12月14日（水）

2023年1月に「TOKYO MICE テクノロジー導入ガイドライン」を発表

●(公財) 共用品推進機構

「新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会」。今年度から3年間、経済産業省の指導のもと実施する。当協会がISOの規格をつくる際に委員として参加していた同機構の専務理事兼事務局長より推薦を受け、津川専務理事へ委員委嘱。本年度は「新たな日常生活でのアクセシビリティ規格」に関する素案作成の準備を行う。経済産業省国際標準課、同省商務・サービスグループヘルスケア産業課、業界団体、大学などが参加。

- ・第1回 9月29日（木）オンライン開催
- ・第2回 2023年1月26日（木）オンライン開催

●一般財団法人札幌産業流通振興協会（JACE 賛助会員）

- ・6月27日（月）： アクセス札幌評議委員会 中尾常務理事出席

●2023年賀詞交歓会招待

- ・1月5日（木）： 一般社団法人日本電機工業会（JEMA） @ANA ホテル東京 地階 プロミネンス
- ・1月6日（金）： 一般社団法人日本雑誌広告協会 @東京ドームホテル B1F 天空
- ・1月11日（水）： 一般社団法人日本展示会協会 @ベルサール東京日本橋 B2F ホール
- ・1月19日（木）： 東京ディスプレイ協同組合 @東京ドームホテル B1F 天空
- ・1月20日（金）： 一般社団法人日本イベント協会 @Patia 市ヶ谷

⑤ 名義申請等

●後援名義

- ・「2022世界トライアスロンシリーズ・ワールドパラトライアスロンシリーズ横浜大会」5月14～15日（土日）
- ・「イベントランド北海道2022」6月8～9日（火水）：アクセス札幌
- ・「バイヤーズマーケット他軌道2022」6月28～29日（火水）：アクセス札幌
- ・「第六回全国高校生花いけバトル」2023年1月22日（日）：レグザムホール（香川県高松市）
- ・「JAPAN SHOP 2023（第52回店舗総合見本市）」2023年2月28日（火）～3月3日（金）：東京ビッグサイト 東展示棟

- ・「BACK STAGE 2023」2023年2月9日（木）：虎の門ヒルズフォーラム 5F+ONLINE
会場
- ・「第4回 Sustainable Event Professional Forum」2023年2月14日（火）：JPタワー
ホール&カンファレンス

●協賛名義

- ・「第25回イベント学会研究大会」2023年11月12～13日（土日）：ビジネスエアポート
横浜 カンファレンスホール